



病 院 局

〔病院事業会計〕（平成 30 年度予算）

○予算要求総額	40,065 百万円	○収益的収入	25,673 百万円
（29 年度予算額	37,300 百万円）	収益的支出	27,544 百万円
前年度比	2,765 百万円 7.4%増	差引	△1,871 百万円
		単年度実質収支	△210 百万円

【平成 30 年度 予算要求の経営方針】

- 1 国の医療制度改革や医療需要の変化など市立病院を取り巻く経営環境は厳しさを増すことが予想されることから、地域連携強化による紹介患者の確保などによる増収対策に努め、後発医薬品の導入促進や院内物流の見直しなどによる費用削減を行なうなど、より一層の経営改善等に取り組み、引き続き地域に必要とされる医療を提供いたします。
- 2 医療センターと八幡病院について、平成 31 年 4 月を目途に、地方独立行政法人への移行に向けた準備を進めてまいります。

【平成 30 年度 予算要求の基本的な考え方】

政策医療の着実な実施

・周産期母子医療

医療センターに併設している総合周産期母子医療センターの運営により、ハイリスクな分娩や高度な治療を要する新生児などへの医療の提供を行うとともに、高度化する医療に対応するため医療機器等の更新を行います。

・救急・小児救急医療

八幡病院に併設している、救命救急センターや小児救急センターの運営により、外傷・心疾患など重篤な患者や小児患者への救急医療の提供を行うとともに、高度化する医療に対応するため医療機器等の更新を行います。

・結核、感染症医療

門司病院で結核病棟を、医療センターで感染症病棟を運営するなど、地域で発症する結核や感染症に対応できる医療を提供しています。

経営改善の推進

地域連携強化による紹介患者を増加させる取組や、新たな入院料加算の届出を行うなど収入の確保に努め、後発薬品採用率の向上や物品管理業務の更なる見直しなど、経費節減に取り組みます。

八幡病院移転改築事業

新病院開院に向け、本体工事の竣工と病院機能の移転を行います。

地域医療連携の推進

診療所などの地域の医療機関への訪問活動、医療連携会や市民公開講座の開催などを通して、より一層医療連携を推進し、多くの市民へ質の高い医療を提供します。

地方独立行政法人化への準備

医療センターと八幡病院について、平成 31 年 4 月を目途に、地方独立行政法人への移行に向けた準備を進めます。

市立医療センター（小倉北区馬借）



市立門司病院（門司区南本町）



市立八幡病院（八幡東区西本町）



新八幡病院（イメージパース）

※ 公開時点での予算要求の内容であり、平成 30 年度に実施することが確定しているものではありません。